

■発達障害かもしれないと思ったら…

家庭や学校で、また遊びや学習で、いろいろな困難が現れてきて日常生活に支障がある場合には、何らかの発達障害があるのでは、と考えてみてもいいかもしれません。

発達障害は生まれつき脳にうまく機能しない部分をもっていると言われていました。

生まれた後の育て方やしつけ、親の態度、その子自身の我慢や努力が足りないなどの環境的な要因で発生するものではありません。

その子への適切な援助は何かを探し取り組むことで、発達の遅れを取り戻したり補ったりできます。困ったままでは、適切な支援を探して取り組みながら、長い目で子育てをしていきましょう。

まずは、発達のどこに困難があるのか～子ども自身がどんなふう困っているのか～よく観察してみましょう。見た目だけでは大変わかりにくい子どもたちなので、教育や医療の専門家に相談することが効果的です。適切な助言や支援情報につながる事ができます。親の会などにアクセスすることも、親同士の支えあいや情報交換などのメリットがあります。

■いろいろな支援情報が載っています■

NPO法人 全国LD親の会 (JPALD)
<http://www.jpald.net/>

日本発達障害ネットワーク (JDDネット)
<http://jddnet.jp/>

発達障害情報センター
<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/seisaku/17.html>



その他

- 仲間(ともだち)との付き合いが下手
- 時間がかかる
- 自分勝手にみえる

- 人の話が聞けていない
- 空気が読めない
- 人の気持ちがわからない
- 融通が利かない